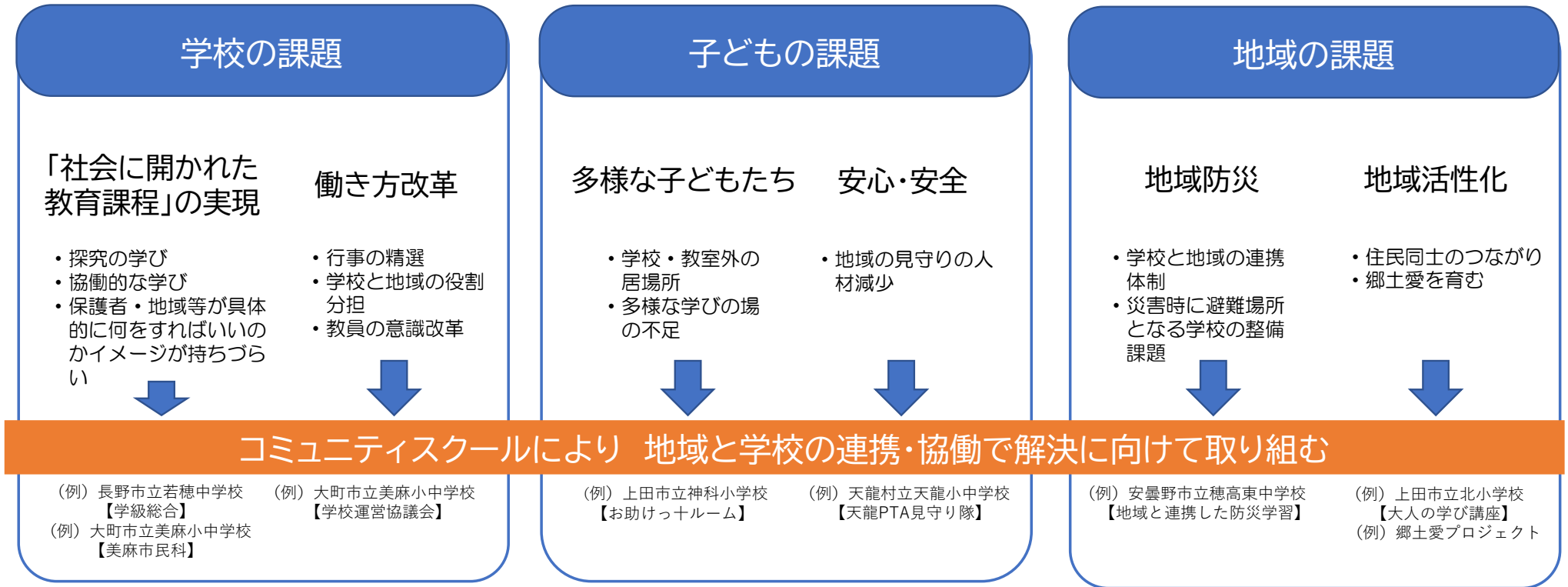


コミュニティスクールを 地域と学校をとりまく課題解決のプラットフォームに



「地域住民等による学校運営参画」の充実

(2024文部科学省行政説明資料より長野県教育委員会生涯学習課作成)

学校運営参画の有用性

学校運営参画が目指す姿は、保護者や地域住民等がお互いに対等な立場で学校の目標や学校・地域が抱える課題への取組みについて話し合うこと

→保護者や地域住民等と学校が課題を共有し、協議する仕組み

→保護者や地域住民等が**当事者意識**を持って参画することで、様々な取組が活性化

学校

学校の目標についての熟議
→特色ある学校づくり

- (例) 大町市立美麻小中学校
- ・多様な関係主体との連携・協働により学校長のビジョンの具現化
 - ・地域の子どもを育てるという視点のもとチームでの地域の特色を生かした学校づくり体制を構築

学校課題をもとにした熟議
→学校だけでない「チーム学校」での対応

- (例) 大町市立美麻小中学校
- ・成熟した運営協議会では、不登校やいじめなど、学校内外において子どもが抱える問題を協議し、学校外の関係者と共に支援体制を構築することが可能。

子ども

多様な大人との関わり
→非認知能力の高まり

- (例) 長野市立松ヶ丘小学校
- ・多様な他者とのつながりの広がり子どもたちの学びを広げ、最終的にはともに学んだ大人への感謝につながる。
- (例) 長野市立若穂中学校
- ・たくさんの大人が関わることで児童・生徒の自己肯定感・有用感の高まりやチャレンジ精神の育成が期待できる。

学校運営への参画
→主体性的高まり

- (例) 上田市立北小学校
- ・学校運営委員会(協議会)へ参加し、学校づくりに関わった子どもたちは主体的に地域のことを考えられるようになっていく。

地域住民

地域課題をもとにした熟議
→学校を核とした地域づくり

- (例) 上田市立北小学校
- ・子どもの成長を見る機会は、関わる方にとっても非常に大きな学びでもあり、大人自身の自己肯定感に繋がる。
 - ・頼まれたときだけのお手伝いよりは、授業を作っていく段階から関われば、関わる側の当事者意識も高まる。

学校運営参画の充実を実現させる上で課題
となっていることは

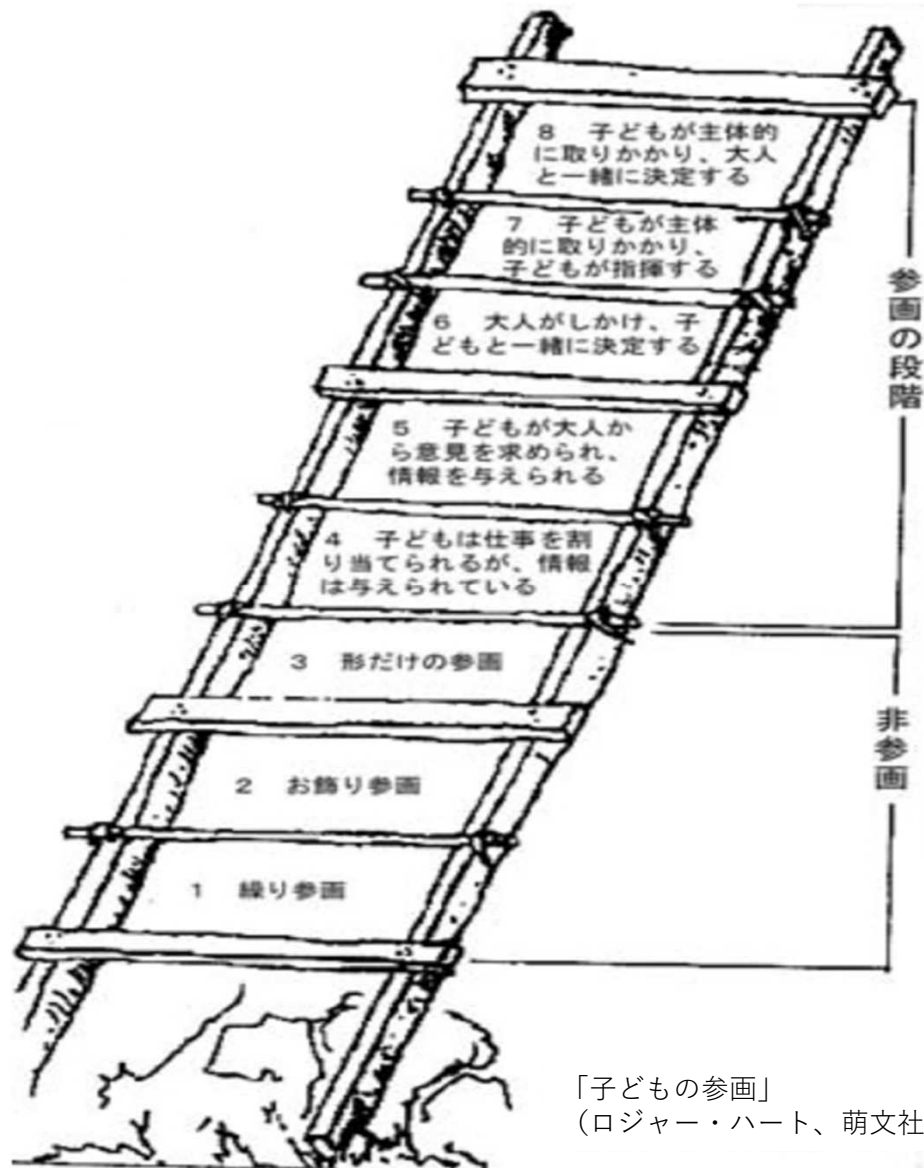
- 学校運営委員会（協議会）での決定事項等の周知
- 情報共有の難しさと人的コスト
- 地域と学校のコミュニケーション
- 地域連携の度合にはバラつきがある

地域と学校の連携・協働における度合 (段階) とは

- 誰しも最初から連携・協働のスペシャリストではない
- 連携・協働の熟度・練度のような段階を上げていくようなプロセスが地域にも学校にもあるのではないか
- コミュニティスクールの議論の難しさは、多様な当事者の多様な考えが一つの場に混ざり合うから

今、自分たちがどうなっていて、何をしていて、ここから先どこ
に向かっていけばいいのかの**可視化**が必要

参画のはしご



「子どもの参画」
(ロジャー・ハート、萌文社、2000) より

学校運営参画のステージ



形式的な参加

自主的な参加・参画

対等な参画

ステージ 1

- 委員会（協議会）へ参加している
- 委員会（協議会）で（指名されて）発言している
- 促されて学校との活動に参加している

ステージ 2

- どんな子どもの姿を願うか（「目指す子ども像」）の決定に積極的に関わっている。
- 自主的に学校（地域）との活動に参加している。
- 自分が関わった活動について振り返りをしている。

ステージ 3

- 学校課題・地域課題を委員会（協議会）で議題とし、その解決に向けて話し合っている。
- 地域学校協働活動が教育目標にリンクしている
- 担任とボランティアが地域学校協働活動に係る授業づくりを共にアイデアを出しながら行っている。
- 「目指す子ども像」実現に向けての活動を学校と連携しながら地域主体で実施している。

参加…活動の一員として加わること
参画…活動の計画・実行に加わること

学校運営参画のステージ

形式的な参加

ステージ 1

- 委員会（協議会）へ参加している。
- 委員会（協議会）で（指名されて）発言する。
- 促されて学校との活動に参加している。

学校運営参画のステージ

自主的な参加・参画

ステージ 2

- どんな子どもの姿を願うか（「目指す子ども像」）の決定に積極的に関わっている。
- 自主的に学校（地域）との活動に参加している。
- 自分が関わった活動について振り返りをしている。

学校運営参画のステージ

対等な参画

ステージ 3

- 学校課題・地域課題を委員会（協議会）で議題とし、その解決に向けて話し合っている。
- 地域学校協働活動が学校教育目標にリンクしている。
- 担任とボランティアが地域学校協働活動に係る授業づくりを共にアイデアを出しながら行っている。
- 「目指す子ども像」実現に向けての活動を学校と連携しながら地域主体で実施している。

学校運営参画の充実の先に…（こんな学校に）

形式的な参加

自主的な参加・参画

対等な参画

ステージ 1

学校と地域に対話の場がある学校

ステージ 2

学校課題に対して地域からの支援が得られる学校

保護者・地域から課題解決を進めるための意見が得られる学校

ステージ 3

学校課題や地域課題を多様な人材の意見をもとに協議し、解決していかれる学校

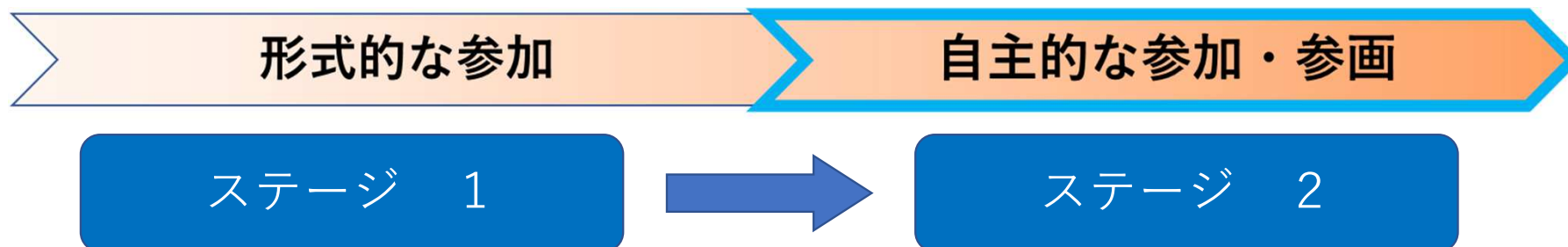
保護者・地域と共に課題解決を進める透明性のある信頼される学校

学校と地域が協働し、その地域の特色を生かした活動が行われる学校



具体的にはどんなことをすればいいの？

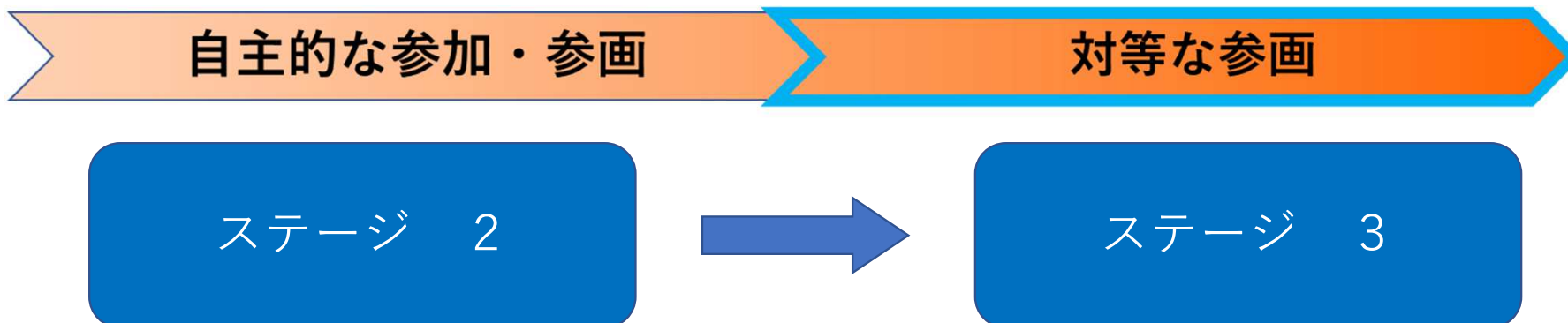
学校運営参画充実のためのトライ（案）



次のステージへのトライ

- ・ 委員と子どもが関わる機会を増やす
- ・ 学校運営委員会（協議会）の議題設定を学校とコーディネーター、委員長で検討してみる
- ・ 委員会（協議会）運営を委員会（協議会）の会長が行う。
- ・ 学校課題を議題として取り上げ、解決方法を検討（授業化）
- ・ 「こうしたい」「こうなるといいな」夢を語る機会を設ける
- ・ ボランティアの居場所（空間・役割）を学校内につくる
- ・ 信州型CSアドバイザーの利用

学校運営参画充実のためのトライ（案）



次のステージへのトライ

- ・ 委員が主体の地域学校協働活動の企画・運営
- ・ 地域課題を議題として取り上げ、解決方法を検討（授業化）
- ・ 活動の振り返りと次年度の活動を語る機会を設ける
- ・ 委員・ボランティアの活動における権限を高める
- ・ 学校も地域も共にわくわくできる活動が行えないか話し合ってみる

学校運営参画のステージ

形式的な参加

自主的な参加・参画

対等な参画



ステージ 1

- 委員会（協議会）へ参加している
- 委員会（協議会）で（指名されて）発言している
- 促されて学校との活動に参加している

ステージ 2

- どんな子どもの姿を願うか（「目指す子ども像」）の決定に積極的に関わっている。
- 自主的に学校（地域）との活動に参加している。
- 自分が関わった活動について振り返りをしている。

ステージ 3

- 学校課題・地域課題を委員会（協議会）で議題とし、その解決に向けて話し合っている。
- 地域学校協働活動が教育目標にリンクしている
- 担任とボランティアが地域学校協働活動に係る授業づくりを共にアイデアを出しながら行っている。
- 「目指す子ども像」実現に向けての活動を学校と連携しながら地域主体で実施している。

参加…活動の一員として加わること
参画…活動の計画・実行に加わること